

## 第四回花粉飛散傾向、花粉観測機「ポールンロボ」が観測基準値を上回る 【速報】東京都で花粉飛散が本格化！ 平年より10日遅い開始に ～毎日の花粉予報や大量飛散情報が届く『花粉対策アラーム』で万全な対策を～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、3月4日までに関東全域、山梨県、静岡県、愛知県、三重県、長崎県、宮崎県の1都12県で基準(※)を超える花粉の飛散が観測され、当該の都県で本格花粉シーズンに突入したことを発表しました。東京都の本格花粉シーズンの開始時期は、断続的に流れ込んだ強い寒気の影響で、昨年より16日遅く、平年(2008年～2017年平均)より10日遅い開始となりました。

3月は一時的に寒さが戻る日もありますが、気温は平年並か平年より高い傾向となります。このため、花粉シーズンに入っている地域を中心に、続々とスギ花粉の飛散が本格化していくとみえています。なお、西・東日本の広範囲で飛散ピークを迎えるのは、スギ花粉は3月下旬にかけて、ヒノキ花粉は3月下旬～4月中旬の予想です。

なお、花粉観測機「ポールンロボ」がリアルタイム観測した花粉データや1時間ごとの飛散予報は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やウェブサイトの「花粉 Ch.」からご覧いただけます。ウェザーニューズは今シーズンも、スマホアプリの利用者を対象に、一人ひとりの症状に合わせた対策情報や予想飛散量を毎朝プッシュ通知でお知らせし、花粉症でお困りの方をサポートしていきます。

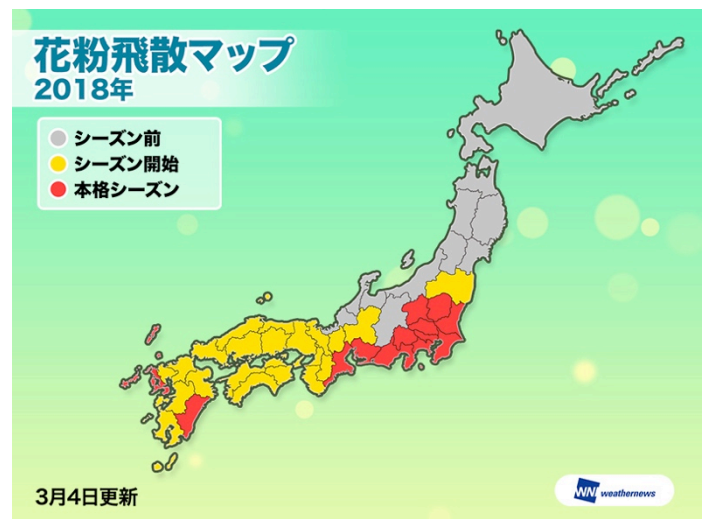
※各都道府県に設置している花粉観測機「ポールンロボ」の3割以上が、1日10個以上を観測する日(2日以上)を花粉シーズン開始、1日30個以上を観測する日を本格花粉シーズン開始の基準とし、ウェザーニューズ会員からの症状報告も参考にしています。

毎日の花粉予報や花粉観測データはこちら		本プレスリリースの素材ダウンロードはこちら
スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」をダウンロード後「花粉 Ch.」にアクセス	ウェザーニューズウェブサイト 「花粉 Ch.」 <a href="https://weathernews.jp/s/pollen/">https://weathernews.jp/s/pollen/</a>	ウェブ版プレスリリース 「第四回花粉飛散傾向」 <a href="https://jp.weathernews.com/news/22244/">https://jp.weathernews.com/news/22244/</a>

### ◆強風と気温上昇で花粉が飛散！ 東京など1都12県で本格花粉シーズンに突入

3月1日と4日に、花粉観測機『ポールンロボ』によって、関東全域、山梨県、静岡県、愛知県、三重県、長崎県、宮崎県で基準(「ポールンロボ」の3割以上が1日30個以上を観測)を超える花粉飛散量が観測されたため、ウェザーニューズは当該の都県で本格花粉シーズンに突入したことを発表しました。

本格花粉シーズンの開始時期は、年末から2月にかけて断続的に流れ込んだ強い寒気の影響で、各地とも昨年・平年よりも遅く、東京都では昨年より16日遅く、平年より10日遅い本格花粉シーズンの開始



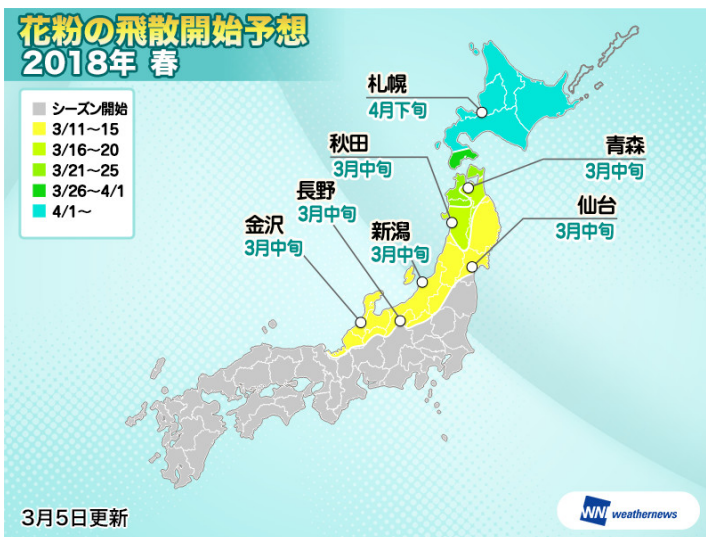
となりました。

2月末から3月初めにかけて、発達した低気圧が日本海を通過し、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだことで、気温が20℃近くまで上昇しました。気温上昇に加え、近畿や東海、関東で「春一番」が発表されるなど各地で風が強まったため、スギ花粉の飛散が本格化したと思われます。

◆飛散開始予想：花粉エリア拡大中、北陸や東北も3月中旬に花粉シーズンへ

3月は寒気の南下によって、一時的に寒さが戻る日もありますが、気温は概ね平年並か平年より高い傾向です。中旬は天気が周期変化し、下旬は西・東日本の太平洋側を中心に晴れる日が多くなる見込みです。また、北日本や北陸エリアの雪の降る日も、平年より少なくなると考えられます。

今後は他のエリアでもスギ花粉の飛散が本格化していくとみています。大雪に見舞われた北陸や東北でも、3月中旬には花粉シーズンに入る予想です。

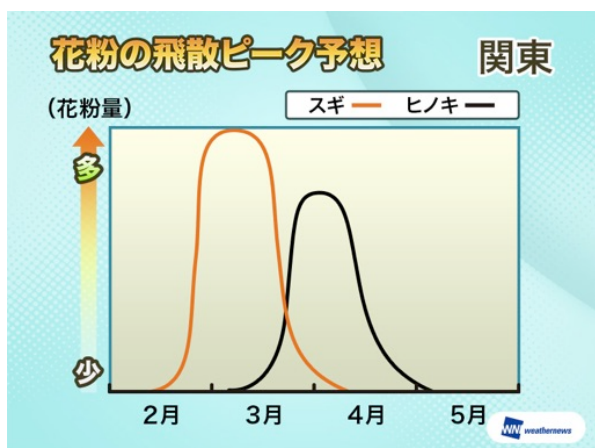


◆飛散ピーク予想：西・東日本のスギ花粉は3月下旬まで、ヒノキ花粉は3月下旬～4月中旬

すでにスギ花粉の飛散が本格化している関東は3月中旬まで、東海や九州は3月下旬までが飛散ピークとなる予想です。その他のスギ花粉のピークは、西・東日本の広範囲で3月中旬～下旬、東北では3月中旬～4月中旬とみています。

3月が終わりに近づくと、西日本からヒノキ花粉の飛散が増えていきます。九州は3月下旬～4月中旬、東海や関東では3月下旬～4月上旬、中国や四国、近畿では4月上旬～中旬にヒノキの花粉飛散量がピークとなる予想です。

また、シラカバ花粉が飛散する北海道では、道南・道央はゴールデンウィーク前後、道北・道東は5月中旬に飛散ピークを迎える予想です。



花粉ピーク予想

	3月			4月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
東北北部			■	■		
東北南部		■	■			
関東/東海・甲信南部	■	■	■	■		
北陸・甲信北部			■	■		
近畿/中国/四国		■	■	■		
九州	■	■	■	■	■	■

◆飛散量予想：全国的に少なめの年平均 65%に

2018年のスギ・ヒノキ花粉シーズンの花粉飛散量は、全国で平均の65%となる見込みで、東日本を中心に平均の50%未満となる地域が目立ちます。特に、記録的な日照不足となった関東は、東京都で平均の50%、茨城県では平均の28%となる予想です。ただ、風が強い日や雨の降った翌日などは一時的に花粉の飛散が増えるため、油断せず対策を行ってください。



◆都道府県ごとの花粉飛散傾向

エリア	都道府県	花粉飛散量 (年平均比:%)	花粉飛散量 (2017年比:%)	花粉シーズン イン予想	本格花粉シー ズンイン予想	花粉飛散ピーク予想	花粉シーズ ン アウト予想
北海道	北海道	111	85	4月下旬	5月上旬	道南・道央:5月上旬 道北・道東:5月中旬	6月上旬
東北	青森県	117	107	3月中旬	3月下旬	スギ:3月下旬~4月 中旬	5月上旬
	岩手県	68	121	3月中旬	3月下旬		5月上旬
	秋田県	76	85	3月中旬	3月下旬	スギ:3月中旬~4月 月上旬	5月上旬
	宮城県	61	116	3月中旬	3月下旬		5月上旬
	山形県	67	97	3月中旬	3月下旬		5月上旬
	福島県	53	86	3月3日	3月中旬		5月上旬
関東	茨城県	28	43	2月15日	3月4日	スギ:3月上旬~中旬 ヒノキ:3月下旬~4月 月上旬	5月上旬
	栃木県	30	46	2月19日	3月4日		5月上旬
	群馬県	30	47	2月15日	3月1日		5月上旬
	埼玉県	48	77	2月14日	3月4日		5月上旬
	千葉県	51	65	2月15日	3月1日		5月上旬
	東京都	50	71	2月15日	3月4日		5月上旬
	神奈川県	51	69	2月14日	3月1日		5月上旬
中部	山梨県	45	68	2月26日	3月4日	スギ:3月上旬~中旬 ヒノキ:3月下旬~4月 月上旬	5月上旬
	長野県	47	59	3月中旬	3月下旬		5月上旬
	新潟県	59	101	3月中旬	3月下旬	スギ:3月下旬~4月 月上旬 ヒノキ:4月中旬	5月上旬
	富山県	46	50	3月中旬	3月下旬		5月上旬
	石川県	57	65	3月中旬	3月下旬		5月上旬
	福井県	55	67	3月中旬	3月下旬		5月上旬
	静岡県	32	34	2月15日	3月1日	スギ:3月上旬~下旬 ヒノキ:3月下旬~4月 月上旬	5月上旬
	愛知県	48	58	2月24日	3月1日		5月上旬
	岐阜県	49	57	3月3日	3月中旬		5月上旬
	三重県	31	34	2月23日	3月1日		5月上旬

近畿	滋賀県	42	54	3月2日	3月中旬	スギ:3月中旬~下旬 ヒノキ:4月上旬~中旬	5月上旬
	京都府	69	77	3月2日	3月中旬		5月上旬
	大阪府	55	60	3月1日	3月中旬		5月上旬
	兵庫県	77	88	3月3日	3月中旬		5月上旬
	奈良県	51	83	3月3日	3月中旬		5月上旬
	和歌山県	89	89	3月1日	3月中旬		5月上旬
中国 四国	岡山県	71	66	2月27日	3月中旬	スギ:3月中旬~下旬 ヒノキ:4月上旬~中旬	5月上旬
	広島県	75	74	2月27日	3月中旬		5月上旬
	鳥取県	70	108	3月4日	3月中旬		5月上旬
	島根県	70	97	3月3日	3月中旬		5月上旬
	山口県	89	92	2月28日	3月中旬		5月上旬
	徳島県	55	57	3月1日	3月中旬		5月上旬
	香川県	55	56	3月1日	3月中旬		5月上旬
	愛媛県	87	86	2月28日	3月中旬		5月上旬
高知県	45	52	3月3日	3月中旬	5月上旬		
九州	福岡県	115	101	2月26日	3月中旬	スギ:3月上旬~下旬 ヒノキ:3月下旬~4月 中旬	4月下旬
	佐賀県	119	100	2月28日	3月中旬		4月下旬
	長崎県	111	75	2月24日	3月1日		4月下旬
	大分県	65	59	2月28日	3月中旬		4月下旬
	熊本県	83	66	2月28日	3月中旬		4月下旬
	宮崎県	101	91	2月24日	3月1日		4月下旬
	鹿児島県	107	118	2月26日	3月中旬		4月下旬
全国	-	65	75	-	-	-	-

※花粉飛散量の求め方について

花粉の飛散量は、沖縄県を除く46都道府県に設置された花粉観測機「ポールンロボ」が観測した数値をもとに算出されています。また、花粉飛散傾向の予想は、過去の花粉飛散量と前年の夏と秋の天候やエリア別の飛散傾向、また全国から寄せられる『雄花レポート』を分析した結果です。

※各都道府県に設置している花粉観測機「ポールンロボ」の3割以上が、1日10個以上を観測する日(2日以上)を花粉シーズン開始、1日30個以上を観測する日を本格花粉シーズン開始の基準とし、ウェザーニュース会員からの症状報告も参考にしています。

※花粉飛散量の平年値:2008年~2017年の10年平均飛散量

### ◆参考情報:花粉対策コンテンツ

スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」の「花粉 Ch.」では、花粉飛散量や天気、風の予報を時系列で一覧できる1時間ごとのピンポイント花粉飛散予報や、花粉観測機「ポールンロボ」が観測したリアルタイムの花粉飛散量、飛散シミュレーションを無料でチェックできます。

そのほか『花粉対策アラーム』では、その日の予想飛散量や花粉シーズンの開始・ピークをスマホにプッシュ通知でお届けします。さらに、花粉症タイプを診断する『花粉症チェックシート』にお答えいただくと、毎朝一人ひとりの症状にあった花粉対策や、臨時で大量飛散の情報をお知らせします。花粉対策の参考に、ぜひご利用ください。



『花粉対策アラーム』イメージ